

## マイレージ冬の時代をいかにサバイバルすべきか？

### —マイルの常識・非常識を再検討—

2015年12月 橋賀秀紀

#### ①マイレージをとりまく状況

■あいつぐマイレージ改悪を考察する  
過去3年ほどでマイレージの条件がどんどん悪化。

2013年6月～

ユナイテッド航空日本～タイ、シンガポールファーストクラス 40000マイル→11000マイル

2015年12月15日～

エアカナダ日本～タイ、シンガポールビジネスクラス 30000マイル→80000マイル、ファーストクラス 50000マイル→130000マイル。

2016年3月22日～

アメリカン航空日本～中東ビジネスクラス 60000マイル→80000マイル。  
米系3社がすべて自社搭乗の場合、距離ではなく利用金額に応じてのマイル加算（エコの下位サブクラスの場合、マイル加算率が非常に悪くなる）。

#### ■マイレージ改悪の背景

自社サイト販売の比率向上により、本来航空会社が求めていた、高収益をもたらす優良顧客への適切な優遇策の実現（優良でないマイラーの淘汰）&マイレージの世界を依然としてリードするアメリカの好景気

#### ■LCCの台頭にもなうマイレージ特典の価値低下

LCCで気軽に片道の航空券が入手できるようになったことにより、ソウル発券などのループに利用する特典航空券の価値が低下した。近場の航空券の相場が下がったことも大きい。海外発券そのものも円安トレンドのなか、利用価値が減少している。

#### ■マイレージに春はやってくるのか？

LCCの長距離路線への拡大とともにレガシーキャリアはマイレージ頼みにならざるをえない。あと数年で「反転」があるか。しかし、いずれにしてもこれから数年は現状をベースに考えざるをえない。

#### ②よきマイラーになるためのところがまえ

■自分の都合にマイレージをあわせるのではなく、マイレージの都合に自分をあわせる

こだわりを持つ人ほど、マイルの効率的な運用から離れていく。いかに柔軟に対応できるのかがカギ。「こだわりと柔軟のハイブリッド」。

#### ■マイルはお金と同義だという習慣をつける

1マイルの相場は2円弱くらい？

- ① 10万円で1万マイル加算の航空券
- ② 9万円でマイルが加算されない航空券

1万マイル≒2万円と考えれば①の航空

券は実質8万円。そのため、①のほうが②よりも割安。

距離のわりに価格の安い航空券、しかもマイル加算率のよいものでマイルを貯め、有償航空券では非常に高いにもかかわらず、比較的少ないマイル数で利用できる特典航空券を利用する。この流れが確立すればマイルの価値を最大化することができる。

### ③マイレージを効率よく貯めるために

#### ■マイレージ未加算だが安いLCC対マイレージ加算だが高いレガシーはどちらに軍配？

ほかの条件が同じだと仮定した場合、LCCの航空券代

レガシーの航空券代－往復のマイル数×レガシーでのマイル加算率×2円

を比較する。その差額が「レガシーとLCCの差」の対価として妥当かどうかで判断。

東京～バンコク（2016年0219-0222）

エアアジア Xセール 31150円

デルタ航空 47512円－5188円＝42324円（Tクラス50%加算 2594マイル 旅行代理店で購入の場合）

日本航空 53840円－5188円＝48652円（Sクラス50%加算 2594マイル）

最近タイ国際航空がエアアジアXを下回ることも。ただし、この航空券はマイル加算対象外…レガシーのプチLCC化がすすんでいる。しかしマイル加算以外は通常のフライト。上級会員のベネフィットも得られる。ただし、LCCのセール運賃が安いことは変わりがない。

#### ■マイルは欧米など長距離路線で貯めて、アジアなどの短距離路線で使う

- ・長距離路線で貯めないとなかなか貯まらない。
- ・短距離路線のほうが必要マイル数は少ない。
- ・ただし近年、アジア路線は格安航空会社（LCC）の発達によりかなり安くなっているので注意が必要。

#### ■加算率を考慮してあえてビジネスを買う

エコノミークラスの加算率が低く、ビジネスクラスの有償航空券が比較的安く、長距離路線の場合、マイル加算に差が出るため、実際の額面以上に両者のコストの差は開かない。

#### ■マイレージ加算率がいまだに100%のエアラインを選んで乗る

底値のエコノミーの場合、マイレージの加算率の多くは50%となってしまったが、現在でも底値で100%加算されるエアラインが若干ある。

ユナイテッド航空に搭乗→シンガポール航空クリスフライヤーに加算

フィンエアー・エティハド航空・ハワイアン航空に搭乗→アメリカン航空アドバンテージに加算

エチオピア航空（香港線もある）に搭乗→ユナイテッド航空マイレージプラスに加算。ただしエチオピア以遠では航空券が高い。

#### ■おもな区間のマイル単価を計算する

成田～上海 デルタ航空 25320 円  
加算率 50% 1117 マイル=2234 円 1  
マイルあたりのコスト 22.7 円  
成田～サイゴン ベトナム航空 43500  
円 加算率 50% 2706 マイル=5412 円  
1 マイルあたりのコスト 16.1 円  
成田～バリ チャイナエアライン  
36570 円 加算率 50% 3717 マイル=  
7434 円 1 マイルあたりのコスト 9.8  
円  
羽田～ロサンゼルス デルタ航空  
51420 円 加算率 50% (旅行会社で購  
入) 5451 マイル=10902 円 1 マイルあ  
たりのコスト 9.4 円  
成田～ベネチア エティハド航空ほか  
50723 円 加算率 50% 7796 マイル=  
15592 円 1 マイルあたりのコスト  
6.5 円 (ゴールド会員だと加算率 100%  
コスト 3.3 円 ゴールド会員でダブル  
マイルボーナス時 コスト 2.2 円)、  
成田～ヨハネスブルク エティハド航  
空ほか 84292 円 加算率 50% 9151  
マイル=18302 円 1 マイルあたりのコ  
スト 9.2 円  
羽田～サンパウロ カタール航空  
103820 円 加算率 50% 12507 マイル  
=25014 円 1 マイルあたりのコスト  
8.3 円

### ■マイレージのキャンペーンにあわせて乗る

キャンペーンが出るまで待ちの戦略。1  
年前の同時期のキャンペーンをチェッ  
クする。

カタール航空 2015 年には 4 都市訪問

で 10 万マイルのキャンペーンも実施。

2016 年も何かあるか？

エティハド航空 2 か月に 1 度程度の高  
頻度で、エコノミークラスはダブルマ  
イル、ビジネスクラスはトリプルマイル  
のキャンペーンを全線対象で実施。

ただし、日本語のサイトでは告知しない  
ことも多い。フライヤートーク

(<http://www.flyertalk.com/>) のエテ  
ィハドスレッドや

frequentflyerbonuses

([http://www.frequentflyerbonuses.c  
om/](http://www.frequentflyerbonuses.com/))

で情報入手する。

また、未加算が多いので粘り強い姿勢が  
必要。中東のエアラインは住所を中東に  
おくと有利というウワサも。

### ■エティハド航空が 2014 年 9 月以降に 実施したおもなキャンペーン

(いずれも要登録。ターゲットのもの)  
2014/9/22～12/15 (9/22～10/6 の購入)

ファースト、ビジネス：ダブルマイル  
エコノミー：なし

2015/1/25～2016/3/25 (1/31 までの登  
録)

ファースト、ビジネス：4 区間で 35000  
マイル、4 区間以上の場合、1 区間につ  
き 15000 マイル加算。

エコノミー：なし

2015/3/12～5/31 (3/22 までの購入)

ファースト、ビジネス：トリプルマイル  
エコノミー：ダブルマイル

2015/4/4～2016/2/28 (3/26～4/10 まで  
の登録)

ファースト、ビジネス：トリプルマイル  
エコノミー：ダブルマイル

2015/7/5～2015/9/15（7/1～7/20の購入）

ファースト：4倍マイル  
ビジネス：トリプルマイル  
エコノミー：なし

2015/9/15～2016/6/15（8/27までの購入）

ファースト、ビジネス：トリプルマイル  
エコノミー：ダブルマイル

2015/10/16～2016/3/31（10/15～10/22の購入）

ファースト、ビジネス：トリプルマイル  
エコノミー：ダブルマイル

2015/12/1～2016/2/28（12/15までの購入）

ファースト、ビジネス、エコノミー：4区間で35000マイル、4区間以上の場合、1区間15000マイル加算。

過去のキャンペーンから将来のキャンペーンを推測。

#### ■米系マイルでは提携他社を使う

ユナイテッド航空、デルタ航空、アメリカン航空の3社のプログラムで自社のフライトでは金額に応じた非常に少ないマイルしか加算されない（上級会員でも）。それを避けるためには同じアライアンスの提携航空会社で貯めるか、上記3社の乗る場合は、パッケージツアーなどで利用し、マイル加算率低下を阻止。

#### ④マイレージを効率よく使うために

##### ■マイルはピーク時に使う

お盆・正月・GWなどのピーク時でも必要マイル数が変わらないエアラインが多い。ただしピーク時はほぼ1年前からの予約が必要な場合も。また、昨今はピーク時でも以前ほど有償航空券が高くなくなっているので注意が必要。

#### ■マイルはビジネスクラス・ファーストクラスで使う

##### 航空券の相場

東京からパリまでエールフランスで行く場合

エコノミークラス 96,920円

ビジネスクラス 494,450円

ファーストクラス 570,450円

エコノミークラスの費用を1とすると  
1対5.1対5.89

※通常ファーストクラスの多くは100万円以上することが多い。これは特別に安い。

ところがマイレージの無料航空券の必要マイル数（デルタ航空スカイマイル・ファーストクラスはKEスカイパスでの必要マイル数）は

エコノミークラス 100000マイル

ビジネスクラス 160000マイル

ファーストクラス 180000マイル

エコノミークラスの必要マイル数を1とすると1対1.6対1.8

#### ■アップグレード特典は一般的に不利

アップグレードは単価計算をすると、多くの場合割高。

#### ■特典の秘孔を突く

## JAL マイレージバンク

エミレーツ航空 日本～ドバイ ビジネスクラス 65000 マイル

日本航空 日本～オーストラリア、モスクワ、ホノルル、デリー ビジネスクラス 60000 マイル（日本発火～金、現地発月～木）

## ANA マイレージクラブ

ANA 成田～ムンバイ エコノミークラス 30000 マイル（ローシーズン Economy BJ)



ANA 日本～香港 ビジネスクラス 35000 マイル（ローシーズン）

ANA 成田～シドニー ビジネスクラス 65000 マイル（ローシーズン）

アジアナ航空 日本～極東ロシア エコノミークラス 22000 マイル

ただしこれらの都市は有償航空券でも近年3～4万円台まで下がったので以前ほどの優位性はない。

## ユナイテッド航空マイレージプラス

日本国内線 片道 5000 マイル 成田→仙台→千歳→静岡 静岡～東京は青春

18などで移動。ただし、ホームページで拾ってくるルートでないと発券不可。出発空港・到着空港を羽田ではなく成田にするのがミソ。目的地を行きもしない壱岐などにして最終区間をボイドするという裏ワザも。

日本～南太平洋 エコノミークラス 25000 マイル ただし、オークランド経由の便は予約が困難

## デルタ航空スカイマイル

コリアンエアor チャイナエアライン 日本～パラオ ビジネスクラス 60000 マイル

ガルーダインドネシア航空 日本～バリ島 ビジネスクラス 80000 マイル

## アメリカン航空アドバンテージ

日本～オセアニア、南太平洋 ビジネスクラス 80000 マイル

日本～中東 ファーストクラス 100000 マイル（2016年3月21日発券までは90000マイル）

## エティハド航空エティハドゲスト

ANA 日本～香港 ビジネスクラス 43000 マイル

## ■「変なルート」にしてマイルの利用価値を上げる

アワードの価値が上がるのは単純往復ではなく、有償航空券では購入が難しいあるいは高い「変なルート」を組んだとき。

## ■燃油が安いうちに特典をどんどん使うべき

現在、燃油がかなり安いがいつゆり戻し

が来るかわからない。航空会社の多くは燃油費が下がるとその分航空券代を上げ、結局トータルの費用はそれほど変わらないが、特典航空券に関してはもともとが無料のためにそうした調整が効かず、燃油代の引き下げはそのまま出費の抑制にむすびつく。そのため、燃油サーチャージを課す特典はいまのうちに積極的に消費したい。使うようなマイルがない場合には、長距離路線を有償で飛び、マイルをかせいでよい。

### ⑤陸マイルを効率よく貯めるための概説

#### ■陸マイル最強のカードは？

au WALLET プリペイドカード

(<https://wallet.auone.jp/> ジザイルからチャージ 最高額 10 万円 ただし国内での買い物のみ 年会費無料) → DC カード Jizile ジザイル

([http://www.cr.mufg.jp/apply/card/dc\\_jizile/](http://www.cr.mufg.jp/apply/card/dc_jizile/) 年会費無料) で DC ハッピープレゼントを 3 倍のスピードで獲得 → MUFG カード プラチナアメリカンエキスプレスカード

(<http://www.cr.mufg.jp/amex/platinum/> 年会費 21600 円) これは 3 年に 1 回の入会でもなんとかなる。ただし、プライオリティパスが付帯し、家族会員も無料なのでカードそのものに入会する価値がある) のグローバルポイントに交換 → シンガポール航空 クリスマスフライヤーのマイルに移行 (JAL などにも可能だが移行手数料が高い) → シンガポール航空のスイートの無料航空券を発券 (東

京～シンガポールのスイートクラス片道 51000 マイル = 必要な買い物額は 212 万 5000 円。月 59000 円の買い物で 3 年間 +21600 円のコストでスイートクラスに無料で乗れる。スイートはクリスマスフライヤー以外では発券できない)。



ジザイルは 100 円につき 2.4 マイル加算。au WALLET は 100 円につき 0.5 円相当のポイント加算。1 マイル 2 円とすると 0.5 円 ÷ 0.25 マイル。国内の買い物については常時 100 円で 2.65 マイル相当の加算。1 マイル 2 円と仮定すると 100 円で 5.3 円、10000 円の買い物で 530 円がキャッシュバックされるという驚異的な加算率を誇る、おそらく銀河系で最も加算率のよいクレジットカード。クレジットカードでも支払える 1 万円の買い物に現金で諭吉 1 枚出したとき、530 円ソンをしていると考える = 現金 1 万円に 1 万円の価値はない。

#### ■それでも陸マイルには頼らない

エティハド航空の底値なら成田からパリまで往復 5 万円強で 16604 マイル加算 (ゴールド会員の場合)。一方この航空券を購入したときのマイル加算はジザイルを使ったとしても 5 万円で 1325

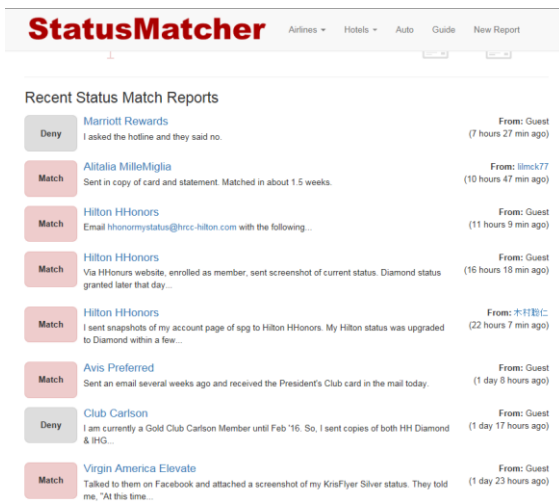
マイル＝フライトマイルの8%弱。ただし、特別に多額の買い物をする人、人の買い物の代行をできる人などをのぞく。

## ⑥上級会員になり、マイルを最も効率よく貯める

### ■上級会員はステータスマッチで

ステータスマッチの可否は

statusmatcher



The screenshot shows the StatusMatcher website interface. At the top, there are navigation tabs for 'Airlines', 'Hotels', 'Auto', 'Guide', and 'New Report'. Below the navigation is a section titled 'Recent Status Match Reports' with a list of reports. Each report includes a status (Deny or Match), the user's action, and the response from the airline. For example, one report shows a 'Match' for 'Marriott Rewards' where the user asked for a copy of a card and statement, and the response was 'Matched in about 1.5 weeks'.

(<http://statusmatcher.com/>) で過去の実績を確認するとよい。ちなみに比較的とりやすいのはスカイチームならアリタリア航空 (成功率 95%)、スターアライアンスなら、アビアンカブラジリアミーゴ (成功率 96%)、ターキッシュ (成功率 80%)、ワンワールドならエアベルリン (成功率 74%) など。

### ■どこの上級会員にもなっていないが、あくせく修行はしたくない場合は…

デルタ スカイマイル アメリカン・エクスプレス・ゴールド・カード (年会費 28080 円) の会員になると、デルタ航空 スカイマイル (スカイチーム) のゴール

ド会員が自動的に付帯する。このステータスをもとにステータスマッチすれば、ワンワールドサファイア、スターアライアンスゴールドの資格も期間限定であるが入手できる。ステータスマッチで上級会員をわたりあるく、「ステータスマッチサーファー」も不可能ではない。

### ■修行は回数よりも距離で

回数で修行をすると、同じ投資額でも獲得するマイル数が少ないので、トータルとしての費用対効果が低い。「修行のための修行」ではなく、「旅行をしていたら自然にマイルが貯まった」が理想。

### ■上級会員のベネフィットはエコで？

上級会員のベネフィット、実はエコノミークラス利用でないとあまり発揮できない。ラウンジ利用にしても、優先搭乗にしても、優先チェックインにしてもビジネスクラス以上なら平会員でも提供される。インボラアップグレードの可能性もしかり。

### ■効率を追求したマイル獲得の例

ユナイテッド航空マイレージプラスのゴールド会員からエティハド航空エティハドゲストにステータスマッチ→エティハド航空のキャンペーンで4区間のフライトを飛ぶと 35000 マイル加算というキャンペーンに登録→成田発イスタンブール往復の航空券を 50430 円で購入。往復 13822 マイル。加算率 50%+ゴールド会員ボーナス 50%で 100%加算。トータル 48822 マイルが加算→43000 マ

イルで ANA のビジネスクラスで東京～香港往復の特典航空券を入手。5 万円強の出費でトルコまでのエコノミーの往復+香港までのビジネスクラスの往復。  
・ポイントはダブルマイルキャンペーンなど、キャンペーンにあわせて航空券を購入し行き先を決めること。現状こうした大判振る舞いのキャンペーンを頻繁にやっているのはエティハド航空のみ。ただし、マイルの加算もれ、対応に時間がかかるなどサービス面の評判は悪いので注意が必要(すべてが完璧ということはありません。そのマイナス面をどうおぎなうのか)。